

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血時の塩分摂取による血管迷走神経反応の予防効果に関する研究(献血前の塩分摂取による遅発性血管迷走神経反応の予防効果に関する準無作為化非盲検比較試験)
研究期間(西暦)	2021年4月1日～2024年3月31日
研究機関名	東京都赤十字血液センター
研究責任者職氏名	医務課長 難波寛子

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

献血会場での塩分タブレット摂取により、献血にともなう副作用である血管迷走神経反応(採血中や採血の前後に心拍が遅くなり末梢血管の緊張が緩んで血圧が低下する副作用で気分不良やふらつき、吐き気、失神等の症状を生じる)が予防できるか確認します。特に、献血終了20分以降に生じる遅発性血管迷走神経反応に注目します。遅発性血管迷走神経反応が起こると転倒して怪我をすることがあります。塩分タブレットの効果が確認できれば、転倒による怪我を予防することができます。

2021年10月1日～2023年3月31日の期間に東京都内の献血会場で400mL全血献血を頂いた方を対象とします。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：なし

献血血液等の情報：献血年月日、献血場所、年齢、性別、身長、体重、献血前後に発生した副作用の情報、献血の種類

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

なし

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

血管迷走神経反応の発生率が、塩分タブレットを摂取した人としなかった人との間で異なっているかを確認します。献血終了前・献血終了後20分以内・献血終了後20分以降の3つの期間に分けて調べます。

5 献血血液等の使用への拒否について

献血時に登録した情報およびその後記録された副作用に関する情報を今回の研究に使用されたくない旨のお申し出をされた場合、匿名化処理により個人が特定できない状態になるまで(同意から概ね2週間後まで)にお申し出された方の情報は一切使用いたしません。また、お申し出された方に何ら不利益が発生することはございません。

6 上記5を受け付ける方法

下記の問い合わせ先に、情報の利用について拒否する旨を申し出てください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都赤十字血液センター
担当者	難波 寛子
電話	03-5272-3532
Mail	n-namba@ktxs.bbc.jrc.or.jp